

千代田区議会議員

2008年4月

## 河合良郎

## Report



春陽の候、うららかな春日和の毎日となりましたね。皆様お元気ですか。身体に活力が漲ってくる、新しい節目の季節です。千代田区議会では3月に第一回定例会（予算議会）を終了しました。その中で、平成20年度の一般会計予算他の審議を行い、賛成多数で可決し、新年度の活動を始めたところです。私は、予算特別委員会の最終日に、平成20年度予算案に賛成の立場から意見発表を行いました。

平成20年度予算案は、区民に最も身近な基礎的自治体である千代田区が、区民生活の安全・安心を守ることを基本に、医療制度改革など社会情勢の変化への適切な対応をはじめ、「地球温暖化施策」「ワーク・ライフ・バランス（次世代育成）施策」など、多様な人々が『共』に『生』きる「共生社会」の理念の具体化を目指し、積極・果敢に行動する予算として編成されたと考えます。なお、予算の執行にあたっては、迅速かつ的確な執行を要望しました。

今後も区民の「しあわせ」のために、活動をしてまいります。変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



## 《イメージイラスト》

飯田橋の歩道橋がこんな風になったら  
素敵ですね。

(計画が決定しているわけではありません。)

飯田橋・富士見地域まちづくり協議会で、飯田橋駅の周辺整備が議論されています。より安全で安心できる街に、魅力的な街に、楽しい街に、ブランド価値のある街にするために方向性を検討しています。特に、駅ガード下及び周辺の景観、新宿区・文京区方面へのアクセスの問題など課題は山積しています。

今後も、地元のみなさんと協議しながら地域整備に努力をしていきます。

お問い合わせ 河合良郎事務所

〒102-0072 千代田区飯田橋 1-5-8

TEL 3261-0672

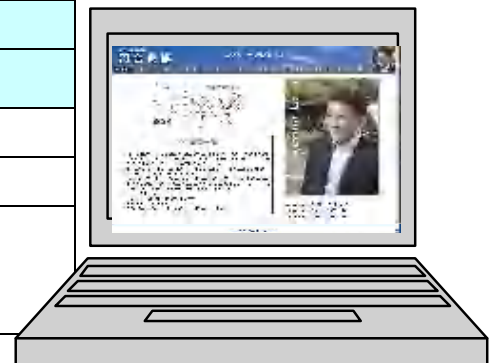
E-mail info@kawai-yoshiro.com

FAX 3261-1151

U R L www.kawai-yoshiro.com

河合良郎 ホットライン 090-1885-1587 (携帯電話)

すべては「区民のしあわせ」のために お気軽にご連絡下さい。



◎2月15日に開会した平成20年第一回千代田区議会定例会（予算議会）も予算特別委員会にて審議を尽くし、閉会しました。予算規模は、538億9600万円となり、前年度対比△13億3500万円、△2.4%の減となりました。

●平成20年度予算の基本方針

- ①「真の地方分権」の実現に向け取り組む。
- ②第三次長期総合計画の「総まとめ」に取り組む。

●重点事項

- ①社会保障制度の改革に適切に対応する。
- ②地球温暖化対策に取り組む。
- ③防災・減災対策を徹底する。
- ④「共生」の理念に即し次代を担う人材を育成する。などなど・・・

消費者物価が高騰する中、区民生活の安定・安心を最優先に、迅速かつ的確な予算執行を要望する「意見発表」をさせていただきました。



★予算特別委員会においても、特別養護老人ホームでの医療対応について質問をしました。

その結果・・・

平成16年度から、特別養護老人ホームに介護保険制度に上乘せする補助金を実施していること。補助金の内容は①看護師の増配置 ②医師会等との協力強化をするための経費の一部 ③長期入院者のベッド確保（区民が療養型施設から退院した場合、元の特養に戻りたいという希望が多く、そこで、介護報酬相当を補助することで2ヶ月程度を目途にベッドを空けた状態にしておくこと）。24時間365日看護師が特養施設に常駐できるよう基準以上の配置をすることなど。また、老人保健施設や療養型病床などが無い千代田区では、79人の高齢者が他区の施設を利用していること。このような方々に千代田区の介護保険で1人あたり月に、特養・294,397円 老健・265,877円 療養型・409,080円 が施設に対して軽減分を補填する特定入所者介護サービス費として支払われていることなどが明らかになりました。

現在、医療処置を必用とする高齢者の更なる増加や特養での受け入れの限界、看護師の採用など様々な問題が生じており、新たな施策展開が必要になってきています。

区では、医療対応が必要な高齢者を受け入れることが出来る施設の誘致の可能性や特別養護老人ホームに対する補助制度の拡充などの検討、また、高齢者総合サポートセンター構想が示され、医療・介護・福祉など、従来からの縦割りの弊害を解消する仕組みづくりに着手していくとの答弁をもらいました。

介護施設に更なる千代田区独自の助成等が出来るように要望していくとともに、今後も、医療ニーズのある高齢者の安心を支えるための条件整備に積極的に取り組んでまいります。

◎平成 20 年第 1 回千代田区議会定例会(予算議会)にて一般質問をいたしました。

## 千代田区総合ホームページを活用した 区内 109 町会の電子回覧構築について

### 質問

少子高齢化の進展や生活習慣の変化で、住民相互の連帯感の希薄化などが見られる。区民の 8 割がマンション居住者に達する本区では、地域活動への参加や交流の促進が課題となっている。共生社会の実現には地域コミュニティの活性化は不可欠であり、情報の共有が必要である。そこで、各町会自治の予定やイベント、環境活動及び防災訓練予定などをインターネットや携帯サイトを活用した電子回覧板で告知する環境を整備してはどうか。

### 答弁

町会こそが共生社会を実現する上で中心的な役割を担う組織と考えている。電子回覧板の構築は、掲載内容に関する基準づくり、日常的な各町会の回覧板管理者の確保及び既存システムの活用を含め是非検討していく。

## 公共施設における気象庁緊急地震速報に対応する インターネットを活用した受信端末の整備について

### 質問

緊急地震速報の受信から、強い揺れの到達までの時間は短い。受信後の取るべき行動は、十分な周知が必要である。そこで、区は ①行動マニュアルを含めどの様な対策を講じたのか。②公共施設等へのインターネットを活用した「受信装置」の設置を検討したのか。

### 答弁

①は区の施設管理者に基本的対応マニュアルを配布した。今後は、具体的な行動を身につける訓練等を実施する。②はインターネット「受信装置」は、最も被害が大きいとされる直下型地震への対応に不十分な面がある。現行機器の効果を見極めて検討していく。





# 千代田区議会議員 河合良郎 REPORT

## 平成 20 年度重要事業の概要(一部)

事業名	予算額	担当部署	内容
「地球温暖化対策の推進」	77,973 千円	環境安全部環境推進課	CO2 の排出量を削減します。
「介護保険施設人材確保・定着・育成支援」	35,500 千円	保健福祉部高齢介護課	介護ニーズに対応し、質の高いサービスを提供する。
「次世代育成手当」	423,379 千円	こども・教育部こども支援課	次世代育成手当と健康診査受診券を合わせて 14 回の健診助成の実施。
「妊婦健康診査」	16,829 千円	保健福祉部健康推進課	
「特定健康診査・特定保険指導」	48,566 千円	区民生活部税務保険年金課	メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の減少。
「健康診査」	14,827 千円		
「成人健診」	59,151 千円	保健福祉部健康推進課	
「マンション等の耐震促進事業」 「建築物の耐震診断助成」 「木造住宅耐震促進事業」	408,883 千円	まちづくり推進部建築指導課	建築物の安全性の向上・災害に強いまちづくりを目指す。
「ちよだアートスクエア開設準備」	11,428 千円	区民生活部文化スポーツ課	旧練成中学校に文化芸術の拠点施設を整備。
「総合型地域スポーツクラブの設立支援」	1,256 千円	区民生活部文化スポーツ課	生涯スポーツ社会の実現を目指す。
「観光協会助成」	56,479 千円	区民生活部区民商工課	協会の組織体制の整備。
「千鳥ヶ淵ポート場改築」	132,207 千円	区民生活部区民商工課	平成 20 年度中に千鳥ヶ淵四季の道とともにリニューアルオープン。
「保養施設予約管理」 「会館施設予約システム」	21,498 千円	区民生活部区民商工課	インターネット・携帯で予約が出来ます。
「高齢者総合サポートセンターの整備」	5,715 千円	保健福祉部高齢介護課	千代田区モデルの都心型福祉拠点の整備計画。
「入院サポート」 「緊急介護人助成」	2,517 千円	保健福祉部生活福祉課	入院中の生活援助・ヘルパー派遣・障害者が推薦する介護人指定制度。
「高齢者等地上波デジタル放送移行支援」	10,500 千円	まちづくり推進部建築指導課	デジタルテレビ用アンテナ設置等の費用を一部助成。
「省エネルギー型道路照明への改善」	185,900 千円	まちづくり推進部道路公園課	街路灯を省エネルギー型の照明に転換。
「外濠公園総合グラウンドの芝生化」	80,000 千円	まちづくり推進部道路公園課	グラウンドの芝生化・公園灯の風力発電化・フェンス、駐車場整備。
「マンション防災対策」	4,300 千円	環境安全部防災課	エレベーター用防災キャビネットの助成。
「共育マスタープランの策定」	6,000 千円	こども・教育部こども総務課	親・学校・地域が連携して共に育むための方針。
「史跡江戸城外堀跡の整備・活用の推進」	3,980 千円	こども・教育部こども総務課	旧江戸城外郭内の史跡を保存し、整備・活用を図る。
「総務事務業務委託」	41,811 千円	政策経営部職員課	コスト削減を推進していくため、業務を段階的に委託していく。
「人材派遣委託」	90,165 千円	政策経営部職員課	正規職員に限らず多様な人材を活用する。
「後期高齢者医療制度の創設」	1,259,197 千円	区民生活部税務保険年金課	75 歳以上の医療保険制度の新設。

イメージを示したものであり、実際とは異なります。

# 富士見・飯田橋地域が大きく変貌します。 21世紀の街並が出現！！ 街と人との調和が大切です。

## 富士見こども園

【小学校・こども園】

地上 6 階 (24.75m)



駅前が富士見地区のランドマークになりますね。

また、今年から「史跡江戸城外堀跡の整備・活用の推進」が予算化されました。(3,980 千円)  
牛込御門を抱える飯田橋は文化遺産にも恵まれた都心の癒し空間ですね。

● 九段中等教育学校土地・建物購入額 6,432,331,313 円  
(土地・6,175,603,434 円 建物・256,727,879 円)

## 富士見二丁目地区街地再開発

(警察病院跡地)

【業務・商業棟】地上 31 階 (159m)  
【住宅棟】地上 44 階 (159m)

## 飯田橋プレーノ

プラウドタワー千代田富士見

【住宅棟】地上 38 階 (135m)

ステージビルディング

【事務所棟】地上 18 階 (78m)

## 富士見一丁目計画

(警察病院弥生寮・看護学校跡地)

【事務所棟】地上 14 階 (67.07m)  
【住宅棟】地上 12 階 (39.95m)

## 西口整備



## 東口整備



JR 飯田橋駅

### ● 飯田橋駅の歴史

1909 年 (明治 39 年) 甲武鉄道の国有化により飯田町駅は国鉄の駅となる。

1928 年 (昭和 03 年) 関東大震災復興により、新宿駅～飯田町駅間の複々線化工事が完成。これにより、牛込駅と飯田町駅が統合され、飯田橋駅が開業。

1987 年 (昭和 62 年) 国鉄分割民営化により、JR 東日本の駅となる。

### ● 利用状況 (一日平均乗車人員)

JR 東日本・・ 88,891 人 (JR 東日本の駅で 41 番目)

東西線・・ 144,745 人 有楽町線・・ 144,203 人 南北線・・ 82,815 人 大江戸線・・ 25,387 人